2026 年 11 月 10 日発表
株式会社学情

【28卒就職人気企業ランキング】文理別/文系1位は9年連続で伊藤忠。理系1位は10年連続味の素、伊藤忠2位に急浮上。トップ 50 激変、「マスコミ」が 11 社

株式会社学情（本社：東京都中央区）は、2028 年卒学生対象「就職人気企業ランキング」の文理別トップ 50 を発表しました。文系トップは総合ランキングと同じく伊藤忠商事。トップ 10 から任天堂と集英社が外れ、ANA（全日本空輸）が７位、アイリスオーヤマが９位に入りました。劇的な変化があったのは理系です。１位は味の素が理系 10 年連続トップで安定した人気ですが、伊藤忠商事が前年の 37 位から急浮上し２位に食い込みました。さらにトップ 50 を見ると、「マスコミ（新聞・放送・広告・出版・芸能・エンタメ）」の小学館（前年 294 位→14 位）、「旅行・ホテル・冠婚葬祭」の JTB グループ（同 145 位→15 位）、「スーパー・流通・百貨店」のファミリーマート（同 333 位→27 位）など、従来は「文系職場」のイメージが強かった業種の企業が前年の 100 位圏外から続々とランクイン。顔ぶれが激変しました。主な要因としては、AI の進化で様々な業種で DX（デジタルトランスフォーメーション）が急速に進み、理系学生の業界・企業選びの選択肢が一気に広がった可能性が考えられます。

【TOPICS】

（1）文系１位は９年連続で伊藤忠　エンタメ・娯楽関連人気は一段落、「食品」が復活の傾向

（2）理系は味の素 10 年連続１位、伊藤忠が２位に急浮上　トップ 50 は「マスコミ」11 社など激変

■ 文理別ランキング TOP10 ■

文系ランキングTOP10

順位	前年	業種	企業名	ポイント
1	1	商社（総合・専門）	伊藤忠商事	100.00
2	2	マスコミ（新聞・放送・広告・出版・芸能・エンタメ）	東宝	80.72
3	3	レジャー・アミューズメント	オリエンタルランド	58.97
4	9	マスコミ（新聞・放送・広告・出版・芸能・エンタメ）	KADOKAWA	53.97
5	10	印刷・紙・パルプ・事務用品	大日本印刷（DNP）	50.68
6	7	食品	味の素	46.18
7	12	運輸・倉庫	ANA（全日本空輸）	44.78
8	8	マスコミ（新聞・放送・広告・出版・芸能・エンタメ）	講談社	43.12
9	17	電気機器・精密機器	アイリスオーヤマ	42.09
10	5	旅行・ホテル・冠婚葬祭	JTBグループ	40.49

理系ランキングTOP10

順位	前年	業種	企業名	ポイント
1	1	食品	味の素	100.00
2	37	商社（総合・専門）	伊藤忠商事	77.55
3	3	スポーツ・ゲーム・その他メーカー	任天堂	76.28
4	5	情報・調査・コンサルティング	NTTデータグループ	62.28
5	4	電気機器・精密機器	アイリスオーヤマ	54.92
6	2	IT・ソフトウェア・インターネット	Sky	54.43
7	21	スポーツ・ゲーム・その他メーカー	バンダイナムコエンターテインメント	53.77
8	8	食品	ロッテ	51.23
9	9	スポーツ・ゲーム・その他メーカー	コナミグループ	51.00
10	7	電気機器・精密機器	ソニーグループ	50.82

▽詳しくは以下よりご覧ください。
https://service.gakujo.ne.jp/jinji-library/report/261110/

2026 年 11 月 10 日発表
株式会社学情

（1）文系１位は９年連続で伊藤忠　エンタメ・娯楽関連人気は一段落、「食品」が復活の傾向

文系ランキングTOP50				
順位	前年	業種	企業名	ポイント
1	1	商社(総合・専門)	伊藤忠商事	100.00
2	2	マスコミ(新聞・放送・広告・出版・芸能・エンタメ)	東宝	80.72
3	3	レジャー・アミューズメント	オリエンタルランド	58.97
4	9	マスコミ(新聞・放送・広告・出版・芸能・エンタメ)	KADOKAWA	53.97
5	10	印刷・紙・パルプ・事務用品	大日本印刷(DNP)	50.68
6	7	食品	味の素	46.18
7	12	運輸・倉庫	ANA(全日本空輸)	44.78
8	8	マスコミ(新聞・放送・広告・出版・芸能・エンタメ)	講談社	43.12
9	17	電気機器・精密機器	アイリスオーヤマ	42.09
10	5	旅行・ホテル・冠婚葬祭	JTBグループ	40.49
11	6	マスコミ(新聞・放送・広告・出版・芸能・エンタメ)	集英社	39.60
12	19	医薬品・化粧品・日用品	資生堂	37.35
13	14	スポーツ・ゲーム・その他メーカー	バンダイ	36.84
14	13	マスコミ(新聞・放送・広告・出版・芸能・エンタメ)	ソニーミュージックグループ	36.69
15	21	運輸・倉庫	JAL(日本航空)	35.84
16	11	旅行・ホテル・冠婚葬祭	星野リゾート・マネジメント	35.38
17	30	印刷・紙・パルプ・事務用品	TOPPAN	35.27
18	4	スポーツ・ゲーム・その他メーカー	任天堂	35.25
19	20	食品	アサヒグループジャパン	34.07
20	50	運輸・倉庫	JR東日本(東日本旅客鉄道)	33.47
21	22	商社(総合・専門)	三菱商事	32.70
22	41	スーパー・流通・百貨店	イオングループ	32.29
23	116	政府系その他団体	愛知県	31.58
24	23	マスコミ(新聞・放送・広告・出版・芸能・エンタメ)	TBSテレビ	30.95
25	126	生保・損保	明治安田生命保険	30.42
26	71	スポーツ・ゲーム・その他メーカー	タカラトミーグループ	30.22
27	77	レジャー・アミューズメント	TOHOシネマズ	29.53
28	31	不動産	三井不動産	28.96
29	58	アパレル・専門店	ニトリ	28.67
30	26	銀行・信金	三菱UFJ銀行	28.52
31	40	スーパー・流通・百貨店	ロピア(OICグループ)	28.29
32	43	銀行・信金	りそなグループ(りそな銀行・埼玉りそな銀行)	27.90
33	107	食品	キユーピー	27.83
34	73	食品	森永製菓	27.76
35	65	医薬品・化粧品・日用品	花王	27.41
36	78	IT・ソフトウェア・インターネット	サイバーエージェント	27.38
37	46	マスコミ(新聞・放送・広告・出版・芸能・エンタメ)	エイベックス	26.90
38	90	食品	味の素AGF	26.76
39	18	マスコミ(新聞・放送・広告・出版・芸能・エンタメ)	博報堂	26.36
40	67	証券	大和証券グループ	26.18
41	28	食品	サントリーグループ	25.92
42	37	銀行・信金	三井住友銀行	25.60
43	51	アパレル・専門店	良品計画	25.53
44	93	食品	カゴメ	25.39
45	112	レジャー・アミューズメント	バンダイナムコアミューズメント	25.16
46	108	食品	キリンホールディングス	25.07
47	106	IT・ソフトウェア・インターネット	富士ソフト	25.06
48	84	医薬品・化粧品・日用品	コーセー	24.95
49	83	商社(総合・専門)	豊田通商	24.68
50	36	マスコミ(新聞・放送・広告・出版・芸能・エンタメ)	ぴあ	24.63

文系のトップ３は、伊藤忠商事、東宝、オリエンタルランドで前年と同じ。KADOKAWA が４位、大日本印刷（DNP）が５位、ANA（全日本空輸）が７位と前年から順位を上げたほか、前年 17 位のアイリスオーヤマが９位となりトップ 10 入りしました。伊藤忠のトップは総合ランキングと同じく９年連続です。

文系トップ 50 を業種別に見ると、最多は「マスコミ（新聞・放送・広告・出版・芸能・エンタメ）」の９社ですが、前年の 15 社よりは減りました。「レジャー・アミューズメント」では、オリエンタルランドのほか、TOHO シネマズ（27 位）、バンダイナムコアミューズメント（45 位）がランクインしましたが、「スポーツ・ゲーム・その他メーカー」は前年の５社から３社に減るなど、全体としてはエンタメや娯楽関連企業の人気は一段落した形です。業種別で２番目に多かったのは、６位の味の素を筆頭に８社が入った「食品」で、前年の４社から倍増。文系学生に身近なメーカーの人気が復活する傾向がみられます。

2026 年 11 月 10 日発表
株式会社学情

（2）理系は味の素 10 年連続 1 位、伊藤忠が 2 位に急浮上　トップ 50 は「マスコミ」11 社など激変

理系ランキングTOP50				
順位	前年	業種	企業名	ポイント
1	1	食品	味の素	100.00
2	37	商社(総合・専門)	伊藤忠商事	77.55
3	3	スポーツ・ゲーム・その他メーカー	任天堂	76.28
4	5	情報・調査・コンサルティング	NTTデータグループ	62.28
5	4	電気機器・精密機器	アイリスオーヤマ	54.92
6	2	IT・ソフトウェア・インターネット	Sky	54.43
7	21	スポーツ・ゲーム・その他メーカー	バンダイナムコエンターテインメント	53.77
8	8	食品	ロッテ	51.23
9	9	スポーツ・ゲーム・その他メーカー	コナミグループ	51.00
10	7	電気機器・精密機器	ソニーグループ	50.82
11	52	印刷・紙・パルプ・事務用品	大日本印刷(DNP)	47.90
12	26	レジャー・アミューズメント	オリエンタルランド	47.73
13	17	スポーツ・ゲーム・その他メーカー	バンダイ	47.35
14	294	マスコミ(新聞・放送・広告・出版・芸能・エンタメ)	小学館	46.43
15	145	旅行・ホテル・冠婚葬祭	JTBグループ	45.15
16	139	旅行・ホテル・冠婚葬祭	星野リゾート・マネジメント	43.28
17	6	食品	サントリーグループ	42.64
18	66	電気機器・精密機器	理研計器	41.71
19	19	食品	森永製菓	41.56
20	93	マスコミ(新聞・放送・広告・出版・芸能・エンタメ)	KADOKAWA	40.77
21	32	マスコミ(新聞・放送・広告・出版・芸能・エンタメ)	東宝	40.58
22	238	マスコミ(新聞・放送・広告・出版・芸能・エンタメ)	講談社	39.41
23	283	レジャー・アミューズメント	サンリオエンターテイメント	39.05
24	115	マスコミ(新聞・放送・広告・出版・芸能・エンタメ)	TBSテレビ	38.56
25	79	運輸・倉庫	ANA(全日本空輸)	38.33
26	106	マスコミ(新聞・放送・広告・出版・芸能・エンタメ)	集英社	38.26
27	333	スーパー・流通・百貨店	ファミリーマート	38.22
28	33	マスコミ(新聞・放送・広告・出版・芸能・エンタメ)	ソニーミュージックグループ	38.16
29	129	マスコミ(新聞・放送・広告・出版・芸能・エンタメ)	東映	37.91
30	802	スーパー・流通・百貨店	そごう・西武	37.84
31	133	マスコミ(新聞・放送・広告・出版・芸能・エンタメ)	松竹	37.37
32	81	政府系その他団体	東京都	37.31
33	14	食品	アサヒグループジャパン	36.69
34	18	輸送用機器・自動車関連	トヨタ自動車	36.40
35	47	電気機器・精密機器	パナソニックグループ	36.23
36	13	医薬品・化粧品・日用品	資生堂	35.98
37	41	医薬品・化粧品・日用品	花王	35.81
38	12	電気機器・精密機器	三菱電機	35.46
39	31	食品	日清食品グループ	35.18
40	346	運輸・倉庫	ANAエアポートサービス	35.17
41	10	IT・ソフトウェア・インターネット	サイバーエージェント	34.61
42	172	スーパー・流通・百貨店	イオングループ	34.51
43	179	マスコミ(新聞・放送・広告・出版・芸能・エンタメ)	博報堂	34.24
44	217	マスコミ(新聞・放送・広告・出版・芸能・エンタメ)	NHK(日本放送協会)	34.09
45	29	食品	カゴメ	33.96
46	82	スーパー・流通・百貨店	ヤオコー	33.29
47	43	スポーツ・ゲーム・その他メーカー	タカラトミーグループ	33.17
48	57	スーパー・流通・百貨店	大黒天物産	33.16
49	200	レジャー・アミューズメント	TOHOシネマズ	32.73
50	27	スポーツ・ゲーム・その他メーカー	カプコン	32.31

理系トップは総合２位の味の素で、今回で 10 年連続１位。食品にとどまらず、健康、半導体材料など広い分野で最先端の技術力を有する点が理系学生を引きつけています。

今回の最大のトピックは、総合１位の伊藤忠商事が理系でも前年の 37 位から２位に急浮上したことです。比較可能な 2008 年卒以降の理系ランキングで、伊藤忠を含む総合商社がトップ 10 に入ったのは初めて。伊藤忠は AI による事業変革「AIX」を前面に打ち出し、経済産業省の「DX 銘柄 2026」にも選出され、総合職採用のうち理系学生が毎年３割ほどを占めるなど理系採用に積極的です。大学院卒の初任給を 40 万円に引き上げたことも院生が多い理系学生に響いた可能性があります。

理系トップ 10 に新たに加わったのは伊藤忠とバンダイナムコエンターテインメント（前年 21 位→７位）だけですが、トップ 50 に広げると顔ぶれは様変わりしました。「マスコミ（新聞・放送・広告・出版・芸能・エンタメ）」が最多（前年２社→11 社）となったほか、「スーパー・流通・百貨店」（０社→５社）、「旅行・ホテル・冠婚葬祭」（同０社→２社）など「文系」のイメージが強かった業種の企業が前年の 100 位圏外から多数ランクインしました。「スポーツ・ゲーム・その他メーカー」は６社と依然人気ですが、前年最多の 15 社を占めた「食品」が７社に、「IT・ソフトウェア・インターネット」も７社から２社に急減しました。

AI の普及で幅広い業種で DX に取り組む企業が急増し、「理系だからメーカー・IT」ではなく、コンテンツ・小売り・観光など多様な業種に理系学生の選択肢が広がったと言えそうです。採用・就活の早期化が進む中、身近な商品やサービスを通じて、働くイメージを持ちやすい企業を選ぶ傾向が強まった可能性もあります。

■調査概要
・調査期間：2026 年２月 10 日（火）～2026 年 10 月 24 日（土）
・調査機関：株式会社学情
・調査対象：2028 年３月卒業予定の全国大学３年生、大学院１年生
・有効回答数：24,407 人
・調査方法：
（１）Ｒｅ就活キャンパス会員学生へ E-MAIL にて告知。Web 上の入力フォームによる回収
（２）弊社主催のイベント来場学生への Web 入力フォームによるアンケート調査及び回収
・回答方法：選択式（最大５社）
・ランキング算出方法：回答学生の所属する学校所在地および文理・男女で 12 区分を設定、文部科学省統計情報より男女文理別の学生数を推計し、ウエイトバック処理の母数とした。これに回答数を対比させウエイトバック値を算出。ランキング１位を 100 ポイントとした相対値によって２位以下のポイントを算出した。

■株式会社学情とは
東証プライム上場・経団連加盟企業。2004 年から、「20 代通年採用」を提唱。会員数 300 万人の「（20 代が選ぶ）20 代向け転職サイト８年連続 No.1・20 代専門転職サイト〈Ｒｅ就活〉」（2019 年～2026 年 東京商工リサーチ調査 20 代向け転職サイト 第１位）や「30 代向けダイレクトリクルーティングサービス〈Ｒｅ就活 30〉」、会員数 60 万人の「スカウト型就職サイト〈Ｒｅ就活キャンパス〉」を軸に、20 代・30 代の採用をトータルにサポートする大手就職・転職情報会社です。
また日本で初めて「合同企業セミナー」を開催し（自社調べ）、「転職博」や「就職博」を運営。若手人材の採用に関する多様なサービスを展開しています。
［創業／1976 年 資本金／15 億円 加盟団体／一般社団法人 日本経済団体連合会、公益社団法人 全国求人情報協会、一般社団法人 日本人材紹介事業協会、日本就職情報出版懇話会、公益財団法人 森林文化協会］
https://company.gakujo.ne.jp

2026 年 11 月 10 日発表
株式会社学情

■お問い合わせ先
株式会社学情　広報担当
東京都中央区銀座 6-10-1 GINZA SIX 9 階
TEL：03-6775-4510　FAX：03-6263-9033
メール：press@gakujo.ne.jp
コーポレートサイト：https://company.gakujo.ne.jp/
株式会社学情のプレスリリース一覧：https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/13485